

## 第4節 商業



### 現況と課題

- ◆ 本市商業は、多くの地方都市の例に漏れず、自家用車の普及や郊外型店舗の出店展開等により大きく環境が変化し、中心市街地の商店街は衰退が続いています。
- ◆ こうした状況に対し、商工会議所を通じ、商業者、商業団体の創造的、積極的な取組に助成を行っています。2015（平成 27）年度からは、「富士吉田市創業支援事業計画」に基づき新規出店者（創業）に対しきめ細やかな指導を関係機関とともに行っていますが、地域経済の活性化を図るために、創業者に限らず既存の事業者ニーズに対しても柔軟に対応することが求められます。
- ◆ 個店（個々の店舗）においては、店主の高齢化や後継者の確保が課題となっており、後継者への事業継承がスムーズに行えるようなバックアップも求められます。
- ◆ こうした中で、移住者等の若い世代が中心市街地の空き店舗等をリノベーションしてゲストハウスを開設するという新たなビジネスにチャレンジする例も見られます。
- ◆ 世界文化遺産である富士山を擁し、海外からも含め訪れる観光客が増加している本市においては、観光を商業に結びつけて活性化していくことが期待されます。現状においては、観光客の増加による飲食店への好影響はあるものの、その他の商店への影響は見られない状況です。
- ◆ 道の駅富士吉田物産館コーナー内に「ふじやま織」や地元野菜販売コーナーも設け、地場製品の売り込みを積極的に行っています。

### 施策の体系

|    |         |                 |
|----|---------|-----------------|
| 商業 | 商業環境の整備 | 魅力ある個性的な商業環境の整備 |
|    | 商業経営の強化 | 個店の魅力づくり        |
|    |         | 商業経営の安定         |
|    | 観光商業の展開 | 観光施策と連携した商業の充実  |

### （１）商業環境の整備

#### ①魅力ある個性的な商業環境の整備

既成市街地内を人々が楽しく散策できる商業環境を形成するため、山梨県の制度などと連携する中で商店街の環境づくりを推進していきます。特に、移住者や若者等による空き店舗のリノベーションなど、新たな活力と再生に向けた取組を支援していきます。

### （２）商業経営の強化

#### ①個店の魅力づくり

商店街の活性化の基本である個々の店の魅力ある事業展開に対して、関係機関と連携して経営の改善・近代化に対し支援するとともに、新規創業への支援も強化していくことにより、特色ある個性と創造性を持つ「個店」づくりを促進していきます。

#### ②商業経営の安定

商業全体の質の向上を目指し、富士吉田商工会議所等関係機関と連携し、経営相談や経営指導の充実を図り、事業承継も含め、経営基盤の強化へ向けた支援を行います。

### （３）観光商業の展開

#### ①観光施策と連携した商業の充実

富士山の世界文化遺産登録をきっかけに多くの観光客が本市を訪れるようになっていることから、オリジナル商品の開発やサービスなど個々の商店の魅力を向上させるとともに、観光施策と連携して観光客に対する商品情報の発信を強化し、商業の活性化を目指します。また、本市「道の駅富士吉田」への集客数の多さは国内有数であることから、地場産品やオリジナル商品の売込み等を積極的に行っていきます。

●道の駅富士吉田

